

平成 27 年度 土木学会西部支部沖縄会 総会 メモ

日時：平成 27 年 7 月 15 日（水）

（総会）16:40～17:10

場所：那覇市厚生会館

議事次第：総会の議事次第については別紙にある議事次第を参照のこと。

1. 運営委員会

会を始めるに先立って事務局から定足数の規約の確認が行われた。次に運営委員長からの挨拶が行われたのち、進行を委員長に移して、審議が開始された。

1-1. 第 1 号議案

第 1 号議案では平成 26 年度の事業報告（案）と収支決算書（案）について審議が行われた。まず事務局より事業報告と収支決算書の報告を行い、次に高井会計監事が監査について報告を行った。

第 1 号議案についての質問や意見等はなく、提案通り承認された。

1-2. 第 2 号議案

第 2 号議案では平成 27 年度の主要事業計画（案）と予算書（案）についての審議が行われた。まず主要事業計画（案）について、各事業計画を平成 27 年度の新たな取り組みである事業計画（案）の 8、9、10 の項目を含め、事務局より説明した。次に予算書（案）が説明されたのち、以下のように質疑を受け付けた。

- ・事業計画（案）8. 技術情報発信の強化
- ・事業計画（案）9. 土木技術者の確保・育成について
- ・事業計画（案）10. 事業実施の手続きについて

（質問者）：平成 26 年度で小委員会が終わったとしているが、今年度技術委員会の活動はなくなるのか。それとも第 2 号議案で説明された人材育成のワーキンググループ（以下、人材育成 WG）がその代わりになるのか。

（事務局）：橋梁長寿命化技術小委員会については平成 27 年 3 月にて活動を終了している。今後は講習会などでその活動結果の報告等を行っていく。人材育成 WG に関しては幹事会の中での活動を行う。

（質問者）：小委員会が終了したのであれば、規約 16 条の技術委員会はどうなるのか。

（事務局）：小委員会は技術委員会の下に属している。小委員会は終了するが技術委員会は活動がない状況ではあるが、規約上は存続する。

（質問者）：平成 27 年度予算書（案）の一部表記が間違っているのではないかと。

（事務局）：ご指摘の通り間違っている。速やかに訂正する。

質疑応答後、第 2 号議案が提案通り承認されたのち、審議が終了した。

2. 総会

会を始めるに先立って事務局から定足数の規約の確認が行われた。次に会長からの挨拶が行われたのち、進行を会長に移して審議が開始された。

2-1. 第 1 号議案

第 1 号議案では平成 26 年度の事業報告（案）と収支決算書（案）について審議が行われた。まず事務局より事業報告と収支決算書の報告を行い、次に高井会計監事が監査について報告を行った。

第 1 号議案についての質問や意見等はなく、提案通り承認された。

2-2. 第 2 号議案

第 2 号議案では平成 27 年度の主要事業計画（案）と予算書（案）についての審議が行われた。まず主要事業計画（案）について、各事業計画を平成 27 年度の新たな取り組みである事業計画（案）の 8、9、10 の項目を含め、事務局より説明した。次に予算書（案）が説明された。

第 2 号議案についての質問や意見等はなく、提案通り承認されたのち、審議が終了した。

- ・事業計画（案）8. 技術情報発信の強化
- ・事業計画（案）9. 土木技術者の確保・育成について
- ・事業計画（案）10. 事業実施の手続きについて